

消防団から 吉岡中吹奏楽部へ

9月14日、町消防団長、前任・後任副団長、第2分団分団長および町消防団ゆるキャラの「吉岡はにまろ」が吉岡中吹奏楽部を訪れ、令和4年度に解散した町消防団ラッパ隊が所有していたトランペット5本の引継ぎを行いました。町消防団は吹奏楽部皆さまの今後の成長とご活躍を心から応援しています。

なお、現在町消防団は深刻な団員不足に陥っています。消防団に興味がある人や入団を希望する人は、役場総務課協働安全室の窓口や電話など(☎26-2243)までお気軽にお問い合わせください。



よしおか支え愛マップづくり (上野田・上野原自治会)

9月21日、町と町社会福祉協議会は、老人福祉センターでよしおか支え愛マップづくりを開催しました。自治会役員や消防団員、消防協力員、民生委員が参加しました。

支え愛マップづくりとは、高齢者世帯や障がい者などで支援を必要とされている人を地域ぐるみで支え合うため、住民自らが地図上に関係性などの情報を書き込んで見える化するものです。今後は、これをもとに地域のつながりを強めるとともに、マップ更新を毎年実施していく予定です。

個別連携協定締結式

9月26日、株式会社グッドアイと個別連携協定を締結しました。相互連携と協働による活動をもって、地産地消・循環型農業のより一層の推進を図ることを目的としています。



▲板橋英之取締役会長(写真右)



全児童へドリルを寄贈していただきました

令和6年度に引き続き、町と包括連携協定を締結している群馬トヨタグループ株式会社より、町内全児童に「交通安全ドリル」の寄贈をいただきました。ありがとうございます。

吉岡町「吉岡」誕生70周年記念

写真でみる「吉岡」いま・むかし

History of Yoshioka

駒寄スマートインターチェンジ

1985(昭和60)年の関越自動車道開通に合わせてオープンした駒寄パーキングエリアには、2004(平成16)年からの社会実験を経て、2006(同18)年に本格運用が開始され、吉岡町の利便性はますます向上しました。

さらに、2021(令和3)年には大型車の利用にも対応。これからも産業の活性化や観光の発展、防災強化が期待されています。

◀建設中の
関越自動車道
(昭和58年頃)



▶駒寄スマート
インターチェンジ
上り線





しんとう・よしおか しんきちマルシェ

北群馬郡を盛り上げようと、隣接する榛東村と合同で行っている「しんきちマルシェ」が、ジョイホンパーク吉岡にて、9月20日に開催されました。マルシェやキッチンカー、親子で楽しめるワークショップなどの出店のほか、吉岡中吹奏楽部のステージ演奏やぐんまちゃんたちのスペシャルステージも行われました。家族連れや買い物帰りの人まで多くの方が来場しました。



手話言語の国際デー・デフリンピックキャラバン活動

9月23日の手話言語の国際デーを記念して、19日、ブルーライトアップセレモニーを行いました。22日から24日にかけて、国際的な手話普及のシンボル・ブルーリボンや世界ろう連盟にちなんだ青色で、役場庁舎がライトアップされました。

また、29日、東京2025デフリンピックキャラバンが町長を表敬訪問しました。



第52回知的障害者福祉月間記念行事

9月の知的障害者福祉月間に合わせ、9月24日、役場で記念行事が行われました。障害のある人や関係者が来庁し、メッセージの朗読と記念品の贈呈を行いました。

稲刈り体験

9月30日、町認定農業者連絡協議会主催の小学生の稲刈り体験が、町農業委員会の協力のもと行われました。地道な手刈りは大変な作業ですが、みんなで力を合わせ、あっという間に刈り終わりました。収穫したお米は精米後、児童たちに配布されました。



友好都市 大樹町通信

ペットボトルロケット製作教室

9月11日、大樹小学校で「ペットボトルロケット製作教室」を行い、製作から打ち上げまでの工程を体験しました。慣れないペットボトルの加工に最初は戸惑いながらも、班の仲間と協力して個性あふれる機体を作りあげ、校庭で自分たちのロケットを飛ばしました。ロケットが勢いよく発射されるたびに歓声が上がり、水と空気力でペットボトルロケットを飛ばす体験を通して、科学的な原理や目標のために試行錯誤する楽しさを学びました。



このコーナーでは友好都市大樹町の魅力を町民の皆さんに紹介します。